

# 【①医療機関調査】

## 医師の副業・兼業と地域医療に関する日本医師会緊急調査 《質問項目》

今回の調査は、Web 回答ですので、本帳票と画面イメージが異なります。  
なお、紙回答は本調査では受け付けておりませんので、何卒、ご了承ください。  
本調査については、病院長・事務長がご回答ください。また、ご回答は2019年12月1日を基準としてお答えください(12月1日時点の情報がない場合は、直近の状況でお願いします)。

本調査で言う「派遣医師」とは、本籍が大学や基幹病院にあり、診療支援や当直等の短時間パート勤務としている医師です。  
なお、地域の医療機関に派遣され常勤で雇用されている医師や派遣会社に登録し派遣された医師は除きます。

1. 貴医療機関名をご記入ください(無記名でも可)。

【名称：】

2. 貴院の立地する都道府県名をおよび二次医療圏名をお選びください(必須)。

【都道府県名： / 二次医療圏名：】

3. 貴院の設置主体を以下の中から1つお選びください(必須)。【回答：】

- ①国(厚生労働省・独立行政法人国立病院機構・国立大学法人・独立行政法人労働者健康安全機構・国立高度専門医療センター・独立行政法人地域医療機能推進機構・その他)  
②都道府県 ③市町村 ④地方独立行政法人 ⑤日赤 ⑥済生会  
⑦北海道社会事業協会 ⑧厚生連 ⑨国民健康保険団体連合会  
⑩健康保険組合及びその連合会 ⑪共済組合及びその連合会  
⑫国民健康保険組合 ⑬公益法人 ⑭医療法人 ⑮私立学校法人  
⑯社会福祉法人 ⑰医療生協 ⑱会社 ⑲その他の法人 ⑳個人

4. 貴院の研修施設等の指定状況として当てはまるものをお選びください(複数回答可(必須))。【回答：】

- ①臨床研修病院(基幹型) ②臨床研修病院(協力型)  
③専門研修施設(基幹施設) ④専門研修施設(連携施設)  
⑤医育機関 ⑥いずれでもない

5. 貴院の病院機能をお選びください(複数回答可(必須))。【回答：】

- ①高度救命救急センター      ②救命救急センター      ③災害拠点病院  
④へき地医療拠点病院      ⑤総合周産期母子医療センター  
⑥地域周産期母子医療センター      ⑦小児救急医療拠点病院  
⑧特定機能病院      ⑨地域医療支援病院      ⑩二次救急医療病院  
⑪専門病院      ⑫いずれでもない

6. 貴院の現状の医師数をご記入ください(必須)。

【常勤】実人数：名

【非常勤】実人数：名      常勤換算人数：名

※常勤換算の方法

貴院の1週間の勤務時間が40時間のとき、週20時間勤務の方の場合は実人数では1人、常勤換算人数では0.5人(20時間÷40時間)と計算します。

7. 貴院の許可病床数をご記入ください(必須)。

一般病床：床      療養病床：床      結核病床：床

感染症病床：床      精神病床：床

【合計：床】

8. 貴院の医師派遣、受け入れの状況について最もあてはまるものを1つお選びください(必須)。

- ①専ら医師を派遣する病院である。  
②医師の派遣、受け入れは概ね半々程度の病院である。  
③専ら医師を受け入れている病院である。

9. 貴院で標榜している診療科の内、現状で年間の時間外勤務時間が960時間を超えていると思われる勤務医が在籍する診療科\*を、以下の中から全てお選びください。該当がない場合は、「該当科なし」をお選びください(複数回答可(必須))。

【回答：】

9-1. 上記でお選びいただいた診療科の内、現状で年間の時間外勤務時間が1,860時間を超えていると思われる勤務医が在籍する診療科\*を、以下の中から全てお選びください。該当がない場合は、「該当科なし」をお選びください。

【回答：】

- ①内科   ②外科   ③小児科   ④産科・産婦人科   ⑤婦人科   ⑥精神科  
⑦皮膚科   ⑧眼科   ⑨耳鼻咽喉科   ⑩泌尿器科   ⑪整形外科   ⑫脳神経外科  
⑬形成外科   ⑭救急科   ⑮麻酔科   ⑯放射線科   ⑰リハビリテーション科  
⑱病理診断科   ⑲臨床検査科   ⑳その他【】   ㉑該当科なし

※本調査では、上記「内科」および「外科」の内訳は、下記のとおりとしています。

内科：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科（胃腸内科）、腎臓内科、神経内科、糖尿病内科（代謝内科）、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科、心療内科

外科：外科、呼吸器外科、循環器外科（心臓・血管外科）、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科（胃腸外科）、肛門外科、小児外科

10. 貴院で勤務する医師の副業・兼業（複数医療機関に勤務）に関する取扱いを以下の中から1つお選びください(必須)。

- ①就業規則により自院以外での勤務は認めていない
- ②病院長が許可した場合のみ認めている
- ③特段の規定はなく、各医師の自由意思に任せている
- ④その他【

】

11. 複数医療機関に勤務する医師の労働時間を通算することについて、どのようにお考えでしょうか、以下の中から1つお選びください(必須)。

- ①通算に賛成
- ②通算にどちらかといえば賛成
- ③どちらともいえない
- ④通算にどちらかといえば反対
- ⑤通算に反対

12. もし、複数医療機関に勤務する医師の労働時間が通算された場合、地域の医療提供体制、医療機関経営に影響を及ぼすと考えられる項目について、以下の中からいくつでもお選びください（複数回答可(必須)）。

【回答： 】

- ①派遣医師の引き上げ
- ②宿日直体制が維持困難
- ③入院患者が減少
- ④手術件数が減少
- ⑤検査件数が減少
- ⑥外来の縮小
- ⑦病床の縮小
- ⑧病棟の閉鎖
- ⑨救急医療からの撤退
- ⑩小児医療からの撤退
- ⑪へき地医療からの撤退
- ⑫周産期医療からの撤退
- ⑬医師確保のため紹介業者への支払が増加
- ⑭勤務医の給与体系の見直し
- ⑮病院の経営が悪化する
- ⑯研修医を指導する時間が減る
- ⑰研修できる症例数が減る
- ⑱初期研修医の確保困難
- ⑲後期研修医の確保困難
- ⑳様々な医療現場での情報共有機会の減少
- ㉑病院勤務医の減少につながる
- ㉒開業する医師が増加する
- ㉓その他【

】 ㉔特になし

13. 最後に、医師の副業・兼業についてご意見がございましたら、以下にご記入ください。

ご回答、誠にありがとうございました。質問は以上です。

## 【②都道府県医師会調査】

### 医師の副業・兼業と地域医療に関する日本医師会緊急調査 《質問項目・回答票》

医師会名： \_\_\_\_\_ 医師会

本調査で言う「派遣医師」とは、本籍が大学や基幹病院にあり、診療支援や当直等の短時間パート勤務としている医師です。

なお、地域の医療機関に派遣され常勤で雇用されている医師や派遣会社に登録し派遣された医師は除きます。

1. 複数医療機関に勤務する医師の労働時間を通算することについて、どのようにお考えでしょうか、以下の中から1つお選びください(必須)。  
①通算に賛成 ②通算にどちらかといえば賛成 ③どちらともいえない  
④通算にどちらかといえば反対 ⑤通算に反対
2. もし、複数医療機関に勤務する医師の労働時間が通算された場合、地域の医療提供体制、医療機関経営に影響を及ぼすと考えられる項目について、以下の中からいくつでもお選びください(複数回答可(必須))。

【回答：

】

- ①派遣医師の引き上げ ②宿日直体制が維持困難 ③入院患者が減少  
④手術件数が減少 ⑤検査件数が減少 ⑥外来の縮小 ⑦病床の縮小  
⑧病棟の閉鎖 ⑨救急医療からの撤退 ⑩小児医療からの撤退 ⑪へき地医療からの撤退  
⑫周産期医療からの撤退 ⑬医師確保のため紹介業者への支払が増加  
⑭勤務医の給与体系の見直し ⑮病院の経営が悪化する ⑯研修医を指導する時間が減る  
⑰研修できる症例数が減る ⑱初期研修医の確保困難 ⑲後期研修医の確保困難  
⑳様々な医療現場での情報共有機会の減少 ㉑病院勤務医の減少につながる  
㉒開業する医師が増加する  
㉓その他【 \_\_\_\_\_ 】 ㉔特になし

3. 最後に、医師の副業・兼業についてご意見がございましたら、以下にご記入ください。

ご回答、誠にありがとうございました。質問は以上です。